

since1995.12
2024年2月発行

社会福祉法人SKYかわさき

〒214-0014

川崎市多摩区登戸 2341-1

TEL : 044-299-6526

FAX : 044-922-6628

HP : <http://www.sky1995.com/>



SKYかわさき通信

第50号

「災害時の業務継続について」

SKYかわさき理事・さくらスタジオ所長 大友 わかさ

近年の自然災害や新型コロナウイルスの影響を受け、2024年4月からすべての障害福祉サービス等事業者はBCP（業務継続計画）の策定が義務づけされました。当法人ももちろんその事業者に含まれます。

BCPとは、地震や風水害などの自然災害や、新型コロナウイルスなど感染症が発生した場合でも、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画をいいます。障害福祉サービスは利用者の皆さまの日常生活に欠かせないものであり、サービスが安定的、継続的に提供されることが重要です。

当法人の複数の事業所がある登戸地域は、水害時には2階まで水につかる深刻な水害エリアで、2019年の台風19号による多摩川氾濫の際は多くの方が避難をした地域です。またグループホームには体力や体調の面から小学校等の避難所へ避難することが困難と想定される方が一定数いらっしゃいます。そのため事業所ごとの実情に即した計画作成が必要であると考え、今年度初めに原則事業所から1名の委員を選出したBCP作成委員会を立ち上げました。委員会の中心は防災委員が担当しました。

計画の構成は、方針や体制をまとめた総論、平時から備える対策について、災害等が起こった時の動き、そして近隣の法人や地域との協力関係の構築と対応などです。実際作成作業に入り、ライフラインや建物・けが人の有無などの被害状況を想定すると、残念ながら現状の備えと体制では足りないことだらけでした。何より夜間や休日に災害が発生し鉄道など公共交通機関がストップしたら半数以上のスタッフが参集することが困難となります。また、他法人や地域との協力関係の構築と対応は、当法人のとても弱い部分と再認識せざるを得ない状況です。研修講師の「まずは完璧なものを目指さずに出来る部分から手をつけて、ひととおり考えましょう。そこから補い少しずつ改善していくことをめざしましょう」という言葉を支えに何とか計画完成まではこぎつけました。足りないものをどのように補い、残った課題を解決していくかは急務であり必須です。できあがった計画を基に、訓練と見直しを重ね実効性の高いものとしていかなければなりません。実際災害等が起こった際には、利用者さん自身がどう判断し動けるかも命を守る上で重要です。職員だけでなく利用者の方、地域の皆様方とともに命を守るために今できることは何かを考え続けていきたいと思います。

尚、今号作成中の2024年1月、能登地方を震源とする最大震度7の地震があり、周辺地域で甚大な被害が発生しました。被災地の方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く生活が旧に復するようお祈り申し上げます。



WHO ミシェル・ファンク博士が SKY かわさきを視察されました

世界保健機関 WHO 精神保健福祉法制度・政策ユニットの責任者であるミシェル・ファンク (Michelle Funk) 博士が、ジュネーブより SKY かわさきへ視察にお越しになりました。博士は日本弁護士連合会の招へいで 2023 年 10 月 17 日の衆議院会館での講演を皮切りに、仙台、札幌、大阪での講演を経て 10 月 21 日 (土) に、就労継続支援 B 型事業所があでん・ららの地域ネットワーク会議に参加。その後北部地域生活支援センターよりあすで、英語字幕版「不安の正体～精神障害者と地域～」を鑑賞後、ピアスタッフらと意見交換をしました。最後にグループホームカンタービレを訪問し、入居者の方からの歓迎を受けました。

ミシェル・ファンク博士は、人権に基づき地域に根差した精神保健福祉の改革のための指導的なプログラムの開発に中心的な役割を果たしてきました。クオリティー・ライツは精神保健福祉サービスの利用者本人をサービスの中心になる主体とし、その人権を保障し地域で医療福祉を享受できるようにするための改革の道しるべです。

訪問の様子は、福祉新聞でも紹介されました。SKY かわさきホームページにもアップされておりますのでご参照ください。

記 三橋 良子



就労継続支援 B 型事業所交通費問題について

働くという事は便利なものだと、つねづね思います。人との出会い、お金、やりがい、居場所、人の役に立てるなど、働く事は人が豊かに生活していく上で必要な価値を様々、与えてくれるものです。就労継続支援 B 型事業所は、障害や病気があっても「働く機会」を得て、その人が豊かに生活するための機会を提供する福祉的就労の場だと思います。

2022 年 9 月、障害福祉サービス事業所が受ける「集団指導」で、利用者の交通費を事業者が支払うことは「利益供与」にあたるかと指導を受けました。精神障害のある方が利用する社会資源が極端に少なかった十数年前、当法人では前身である川崎市精神障害者地域活動支援センターの交通費補助に倣い、また、障害があっても働く機会を得る一助となるようにと福祉的就労の場である B 型事業所でも交通費を出すことを決め、活動を行ってきました。

B 型事業所の課題でもあります「工賃」と呼ばれる利用者さんが働いた賃金は当法人では時給で 120 円から 680 円ほど。体調などにより利用日数、利用時間の少ない方は月の工賃が数千円の方もいらっしゃいます。そのような中、交通費を自費で払う場合、「働く機会」を断念せざるをえなくなる方がいらっしゃるのではないかと…そんな思いから当法人では今年度事業者による交通費支払いを認めて頂くよう、市に働きかけていくこととなりました。市内他事業所の状況をお伺いし、他都市の現状を調べ、担当課の方と話をする準備や、必要であれば交通費助成制度に関する請願を行う準備なども進めていた所、川崎市議会議員の各務雅彦氏とご縁があり、担当課との協議をセッティングして頂けることになりました。

担当課との協議で市の見解や指導の真意なども伺いつつ、現場の意見を率直にお伝えすることができ、後日、国や他都市の「交通費」の考え方も確認して頂いて、無事「事業者が交通費を利用者に支払うことのみをもっては利益供与とするにはあたらない」という回答を得ることができ、集団指導の内容も訂正の通知を出して頂けることとなりました。

協議の場を持ち、誠実に対応していただいた市の皆様に感謝申し上げます。

「利益供与により利用者の方の意思をゆがめる事」はあってはならないことだと、私たちも思います。これからも利用者の方にとってより良い事業所であるように、守るべきは守り、疑問を感じた点は協議させていただきながら障害のある人が包摂された社会を目指して活動してまいります。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

記 嘉門 琢美



ご寄附御礼(令和5年5月1日～令和5年11月30日)

○ ASAO 健康井戸端会議 様 ○ 麻生やまゆりの会 様 ○ 泰山木の会 様
○ 玉井 信重 様 ○ 寺澤 捷 様 ○ 福岡 貴生 様
○ 税理士法人 八木会計 様 ○ 葉月社会保険労務士事務所 様
○ クリニックはまだ 様

(申込書・払込取扱票で「掲載可」にチェックのある方のみ掲載させていただきます)

計168,000円のご寄附をいただきました。

お志は大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

画竜点睛

物事を成し遂げるために重要な最後の仕上げという意味のこと。

評議員の皆様の一ことコーナー Vol.5



正義はどこにある？

評議員 百合丘メンタルクリニック 十文字陽一

今年は、クマの当たり年だそうで、皆さんも記憶に新しいOS018という北海道のヒグマ、アーバンベアと呼ばれる都市に出没する都市型のツキノワグマなど、ニュースを賑わせています。私が、北海道に住んでいた40年前は、普通に生活していればクマと遭遇する事は全くなく、この40年で随分と個体が増えた事、またクマの暮らす奥山と人里の間にあった緩衝ゾーンが曖昧になったなど理由はあるのでしょう。しかし、クマがどんなに狂暴と言われても、意味もなく人を襲ったりすることはないそうです。ましてや同種同士で殺し合いをすることなど尚更ないそうです。それは、ライオンやトラも同じだそうです。

また、もう一方で、毎日、新聞紙面に踊る文字は、「戦争」の文字。昨年のロシアのウクライナ侵攻から、最近のイスラエル、パレスチナ戦争、内紛も含めれば、人類史上戦火が途絶えたことは一度もないそうです。犠牲になった子供のニュースは、見ている人の心を締め付けるものです。戦争を体験した人は、必ず「戦争は絶対にしてはいけない」と言いますが、やはり世界中のあちこちで、今日も誰かが戦争をしています。

クマやライオンと違い、我々人間には智慧、知恵、理性、を与えられています。しかし、同時に、動物にはないと言われている、生きるため以外の「欲」や「エゴ」も持ち合わせています。その欲やエゴが理性を、知性を上回るのであれば、そこから先、我々人間は神頼みしかないのかもしれないかもしれません。

そして、パレスチナの地にあるエルサレムには、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの聖地があります。そこで神様は、この世界の現状をどう見ているのでしょうか？

いかに我々人間は恐ろしい生きものなのか、我々自身が自覚し、素晴らしい地球の未来を後世に残して行く努力をしていく義務があるのではないのでしょうか。今を生きる私は、100年後の地球の行く末を大変憂いております。

令和5年度 第一回 SKY 研修を行いました

令和5年 11月17日(金) 15:00~17:00 参加者 36名

今回は、昨年度のアンケートで関心の高かった「トラウマ」についての理解を深め、対象者の全体像を把握する大切さに気付く機会となる様に、「トラウマ・インフォームドケア(TIC)～生きづらさを理解する～」というテーマで川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センターこころの健康課より、精神科医である石井美緒先生をお招きしました。

研修では、TICはどのようなケアなのか、トラウマについての定義や歴史、トラウマによる影響、当事者中心の視点の大切さ等についてのわかりやすく明晰なお話から、当事者の方が自らトラウマの症状をコントロールすることで、自信の回復に繋げるツールの紹介もしていただきました。また、実際に事例検討のグループワークも行い、活発な意見交換ができました。

今回の研修で、TICは、私たちが普段実践しているケアを「トラウマ」のレンズで見直したものだ学びました。

今後も、当事者中心の視点で、共に考え、寄り添った支援を行っていきたいと感じる研修となりました。(研修委員会)



ひまわり ねこ副所長



地域相談支援センターひまわり



令和5年度 ゆりあす・ひまわり合同地域ネットワーク会議を開催しました

令和5年11月21日、ゆりあす食堂にて、地域の方々をお招きしてネットワーク会議を開催しました。

開催のきっかけは、ひまわりにご相談いただいた「精神障害の方からのサービス依頼が増えており、対応について難しさを感じることもあり、病気を理解していきたい」という居宅介護事業所と、「地域の資源を知りたい、地域と繋がるためにはどうしたらいいか」という訪問看護事業所からのお話でした。

地域での支援の担い手が足りないと感じる中、支援のために障害理解や地域との繋がりを求めて下さっている声にどう応えていくかをゆりあすと考え、地域の居宅介護事業所、訪問看護事業所、ゆりあすメンバーさんにお声がけのもと、『お互いを知り合い、それぞれが地域に啓発していくことで、誰もが暮らしやすい街づくりに繋げていく』をテーマに掲げ、事業所紹介や体験発表、グループワークの中で顔の見える関係づくりを行いました。

すてきな発表



ありがとうございました！

グループワークでは、各グループが活発かつ和気あいあいと意見交換を行い、時間が足りないくらいでした。また、ご感想からは「メンバーさんがゆりあすに来ていること、そのきっかけ、過去の辛いことを自ら話してくださったことが学びになった」

「支援の相談ができてよかった」「ヘルパーの当日キャンセルが問題になっていると改めて知った」「精神の病気、障害の体調は紙一重。またぜひ話し伝えたい」と、参加者からお互いを思い合うご意見をうかがうことができ、地域を知ることはお互いを知り合うことから始まる、と改めて感じました。

参加して下さったみなさん、本当にありがとうございました！



盛り上がったグループワーク

紙ひこうき

令和6年 2月号

地域活動支援センター 紙ひこうき

〒214-0014 多摩区登戸2341-1

TEL/FAX 044-922-3686

紙ひこうきとは… 精神障がいのある方の地域生活を支援する、地域活動支援センターです。

自分のペースで来られる憩いの場、自分たちで創り上げる自分らしさの場として活動しています。

初の! イカス! スカイ展 を開催 しました

～紙ひこうきより代表してご報告させていただきます～

昨年 7 月 28 日から8月 2 日まで、多摩市民ギャラリーにて SKY かわさきに集う仲間たちの作品展を行いました。個性豊かな作品に彩られた会場には 5 日間で 334 名の方にご来場いただき、子どもからご高齢の方まで様々な世代の方で賑わい、大盛況で終えることができました。この場をお借りして、ご来場の皆様、そして出品して下さった SKY かわさき関係者の皆様にお礼を申し上げます。

「イカス! スカイ展」は、地域活動支援センターきたのぼ、紙ひこうき、さくらスタジオの3事業所が、障がいの理解や地域の皆様との交流を目的に考えたイベントです。法人としては初の試みだったこともあり手探りの状態でしたが、きたのぼと紙ひこうきのメンバーが実行委員に参加し、ネーミングやテーマ、コンセプトを検討することから始まりました。「明るく、ユニークな」「SKY 全体で交流できる良さがある」「様々な表現方法でみんなに楽しんでもらいたい」などたくさんの思いが詰まった会場には、40名の個人作品やチームワークで作りに上げた合作作品、計150点が集まりました。会場は SKY の皆様とお客様の交流が自然と生まれるそんな温かい空間となりました。5日という短い期間でしたが全8事業所が協力し合い、皆の思いが一体となった素敵なイベントになったのではないかと思います。またいつか皆様と会えることを願って…。

ところで…紙ひこうきではメンバーの皆さんが開催の1か月前から全体の飾りつけの準備をしたり、自分の作品を紹介するため毎日通ったりと、みんなで盛り上がった BIG イベントとなりました。縁の下の力持ちとして、頑張ってくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

実行委員の橋本さん「自分に自信が育ち始め、いろんな方と交流も持てたし、アイデアもいただけて夢が広がった！」



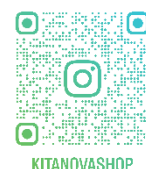
実行委員のねじねじ星人と橋本さんがデザインした合作ポスター



鉄道模型のジオラマを出品した中島さん
「子どもたちが目をキラキラさせて喜んでくれて嬉しかった」



法人 HP のお知らせ一覧で来場の皆様の感想をご覧ください！



2023 年 9 月 6 日(水)

紙ひこうき・きたのば合同夏まつり開催♪

昨年に引き続き、お隣の紙ひこうきと合同夏まつりを開催しました。

はっぴわーくの出張かき氷・美味しい焼きそば・ポッチャ大会・ダンス&みんなで歌おう・花火を行いました。

“きたのば”からは総勢 14 名が参加し、紙ひこうきとのメンバーさんたちとの交流も楽しみました。

かなさん：ポッチャ大会すごく楽しかったです。はっぴさんのかき氷は一杯でやめようと思ったけど二杯食べてしまいました。

くうちゃん：美味しい焼きそば、かき氷を食べて楽しかった。隣で工事をしていたおじさん達が、ダンスを見てくれて嬉しかった。花火もできて楽しかった。



最新の情報は
ここで check !!

毎年大好評のクリスマスツリー クリスマスリース

今年もたくさん製作・販売しました！！一つ一つメンバーさんが色の組み合わせを考えて製作しています♪



〇ちゃん：クリスマス製品をラッピングしながらキラキラして綺麗だなと思っていました。自分なりにこれを買った人にあったかいクリスマスでありますようにと心をこめて包みました。楽しかった。

みかん：手に針金をさしながら作りました！

3232：色んな色のビーズの組合せをあーでもないこーでもないと考えながら作りました。組立も難しいし、これで 500 円と 400 円は安すぎる！！と叫びつつ、出来上がりの可愛さに大満足です☆

のぞみちゃん：リボンを切るのが大変だったけど、何とか出来たので楽しかったです。

製品作り用のビーズ・フェルト

寄付を引き続き大募集中

ご寄付を頂いた皆様ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

自宅に眠っているビーズとフェルトがありましたら、“きたのば”までご連絡ください！



2023 年 10 月 31 日(火)

「ハロウィン大人食堂」初開催！

月 3～4 回あるランチが大好評の中、「夕方のおひとり様ご飯は寂しいな…」「夕方になると気持ちが沈んじゃう」などの声がありました。

それなら、試みに夕方にご飯会を企画してみよう♪と紙ひこうきと合同で「ハロウィン大人食堂」を企画開催！

オムライスとパンケーキのメニューに、総勢 14 名の方が参加してくださいました。

みんなでご飯はやっぱり楽しいとニコニコ笑顔なご飯会でした♡



かおりさん：いつも一人で夕食を食べるのは寂しさを感じることもあるけれど、ワイワイ皆で笑いながら食べてとても楽しかったです。ぜひまたやりたいです。ありがとうございます。

とっちゃん：オムライスとパンケーキ美味しかった♪みんなで食べる夕飯は美味しくて楽しかった。パンケーキが追加されておなかいっぱいになった

昨年も新しい場所での販売や 4 年ぶりの販売など多くの販売に参加することができました。また、刺しゅう布きん 390 枚のご注文や新たな委託販売先とも繋がり、お陰さまで多くの方に“きたのば”の製品を手にとりいただけたと実感しております。誠にありがとうございます。

出店：パサージュたま・ふれあいまつり・まじわー de 夏まつり・KAWASAKI 産 SUN フェスティバル・合同販売会・お月見フェスタ・あゆまつり・ハロウィンだよ！登栄会・北リハフェスタ・登戸福祉まつり・ふれあいバザール・武田病院・SORA 市

委託販売：多摩区ソーシャルデザインセンター（奇数月）
cafePOP・がであん・ららら

2023 年 4 月～12 月

15 箇所に出店♪
Special Thanks !

今年も頑張ります！

就労継続支援B型事業所

があでん・ららら

コロナの影響で減っていた販売やイベントも少しずつ戻り、ありがたいことにらららも色々なところからお声を掛けて頂きました。久しぶりに多くの販売に参加することが出来たので、参加した方に話を聞いてみました。



販売売上ランキングTOP3

クッキー

ハーブティー

チョコチップクッキー

クリスマス
ブレンド

ココアクッキー

青春こだわり
ブレンド

コーヒーチョコクッキー

ららら
オリジナル

この日はとても寒く風が冷たかったのですが、たくさんのお客さんが来てくれて、クッキーが完売しました。皆様ありがとうございました。(G)



初めて販売に参加しました。普段お客様とふれあう事がないので、直接お客様とお話したり、関わる事ができてとても良い経験になりました。

(K.C)



初めて販売に参加しました。この日はとても忙しくびくびくしました。レジをやるのに緊張しましたが、なんとかできました。

(H.K)

クリスマスマーケット報告

今年度もクリスマスマーケットを開催しました。皆様の素敵な製品や新鮮な野菜等が販売されました。今回はその様子を写真でご報告したいと思います。



・ ・ ・ ・ ・ み ・ ん ・ な ・ の ・ 広 ・ 場 ・ ・ ・ ・ ・

～ SKYメンバーの投稿コーナー ～

SKYメンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」。
今号も様々な作品が集まりました。どうぞお楽しみください！

「リトモ・ラティーノ」

ゆりあす 堀部敦

写真はアルゼンチン人ミュージシャンのルイス・サルトルと。当時、田町にあったInterFMのスタジオ内にて。2002年9月26日撮影。番組でアシスタントをしていたウラ・リサと明智ハナエリカも魅力的でした。2人とも日本人とメキシコ人とのハーフ。



ゆりあす マルちゃん

いぜんりょこうに行った時にとった写真です。富岡製糸工場での見学をしました。とてもたのしかったです。



涙がでそうになった

ファミリーレストランで、下を向いて席に座っていると、隣の会話が自然に聞こえてきた。「あんなブスはいない。あれを見たら、他のブスは許せる」。うろおぼえだが、隣の人たちはそんなようなことをしゃべっていた。涙がでそうになった。どうして、そんなにひどいことがいえるのだろう。自分が女性でもしも同じことをいわれたらどんな気持ちができるのだろう。自分の母親が同じことを誰かにいわれたらどう思うのだろう。女性も男性も「それ以外の人」も、みんな同じ人間だ。しかし、この社会には女性を「男性の観賞用の存在」と見たり「男性に快楽を与えるための存在」と見たりする文化が色濃くある。隣の人たちのしゃべっていたような会話がこの世界から消滅するために、私にはいったい何ができるのだろうか。ファミリーレストランで食事をして、私はそんなことを考えた。

——2023年10月6日の『週刊金曜日』に掲載された投書を縮小しました。

『週刊金曜日』編集部には、許可をとっています。(ホームSKY 関口 実)

こんにちは、今夏開催されたイカス・スカイ展、自分でも驚くぐらいの点数でした。まずは成功おめでとうございます。さて今回の展示は僕にとって目標としていた川崎、合わせて7地区の写真を発表したかったというのが本心でした。自分の期待に応えられる事ができなかったのが残念でした。なので次回こそはと思い、また、重々しい歴史は省くつもりで、まずなにか7区を廻ろうかと考えめぐねているところ、その重々しい歴史の本に似た書物を手に取ってみようというのが、その目標の始まりになるのではないかと、一冊 2,000 円位する物を買いました。まあ買ってから改めて想像してみると、行った事がない場所などを鑑みてみると、やはり胸が踊るような思いが込められてくること多々あり、書物には全く手を伸ばせない僕がいたりしています。7区あるのでその内の何をどんな所を巡って写真に残そうか？一人ではなかなか思いもしない場面を迎えています。



「雪の姫」 さくらスタジオ 渡辺成美



「マイブーム」
紙ひこうき mari



「天才宮崎の第2弾」
ホームSKY 江口 秀介



コロナは5類になったけれど、私はここ半年、泊りがけの旅行をしていない。その理由の一つに犬の介護がある。親の介護すら経験してない私ではあるが、一緒に暮らす犬が老齢で、このところお下の不安が少しある。失敗は月に一度ぐらいのことだが、ある日は夜明け前から便のついた足で歩き回られてしまい、早朝からの床磨き、そしてカーペットは買い替える羽目になった。トホホである。気分良く目覚めた休日の朝のまさに暗転劇である。それ以来、家族との会話の主要部分を犬の排泄の有無が占めている(笑)。

それでも犬は私にとって、15年共に暮らし海に山に川にと共に過ごし、思いの詰まった大事な家族である。たまの息抜きも必要だけど、大切に見守りたい気持ちでいる。下の話題に終始してしまったが、最後に、私のお気に入りの景色を一つ。これは知っている人も多いかと。百合丘3丁目から見た秋の夕日、坂道の多い多摩区・麻生区は、身近な気分転換スポットに恵まれている。ありがたいことです。

FROM: ホームSKY 山下さん

次回のつぶやきは??

紙ひこうき 田中さん



暑さが残る秋晴れの日、多摩市社会福祉協議会主催の福祉フェスタで、映画「不安の正体」が上映されました。アフタートークでは、ホームSKY 藤井職員から、当時の反対運動の様子とグループホーム開所後のメンバーと近隣住民の平和な暮らしぶりをご報告しました。

会場からは「行政や民生委員の立場はどうか」「近隣住民への説明については昔から議論があった」等のご意見、ご感想がありました。多摩市は川崎市に隣接する東京都。県を超えて沢山の方々と、この映画を共有していくことで、誰もが暮らしやすい社会へと近づけるのではないかと改めて感じました。

ドキュメンタリー

映画「不安の正体」

～精神障害者グループホームと地域～

上映会報告 普及啓発委員会



会場：多摩市総合福祉センター

日時：令和5年10月22日13時

ゲスト：SKY かわさきホーム SKY 藤井主任

狛江市地域生活支援センターリヒト東所長

上映中も手話の同時通訳があり、参加者：約40名

会場の優しい配慮がとても心地よかったです。今回、お誘いいただいた多摩市社会福祉士会の皆様、ありがとうございました！



新職員紹介 ～ホームSKY 木下真貴子さん～

10月に入社しました。業務上では日々新しい発見があり、メンバーさん・職員の皆さんに学ばせていただいています。持ち前の笑顔と事務処理能力を活かして早くお役に立てるよう頑張ります。よろしく願いいたします。

編集後記 あん肝が好きすぎて、某回転寿司店で4皿を平らげ、子供の友人に引かれた上に、お腹をこわしました。ほどほどが何よりですね(お)

